



イントロダクション2

増えてきている！ 低価格な高精度GPS受信機

高須 知二 Tomoji Takasu

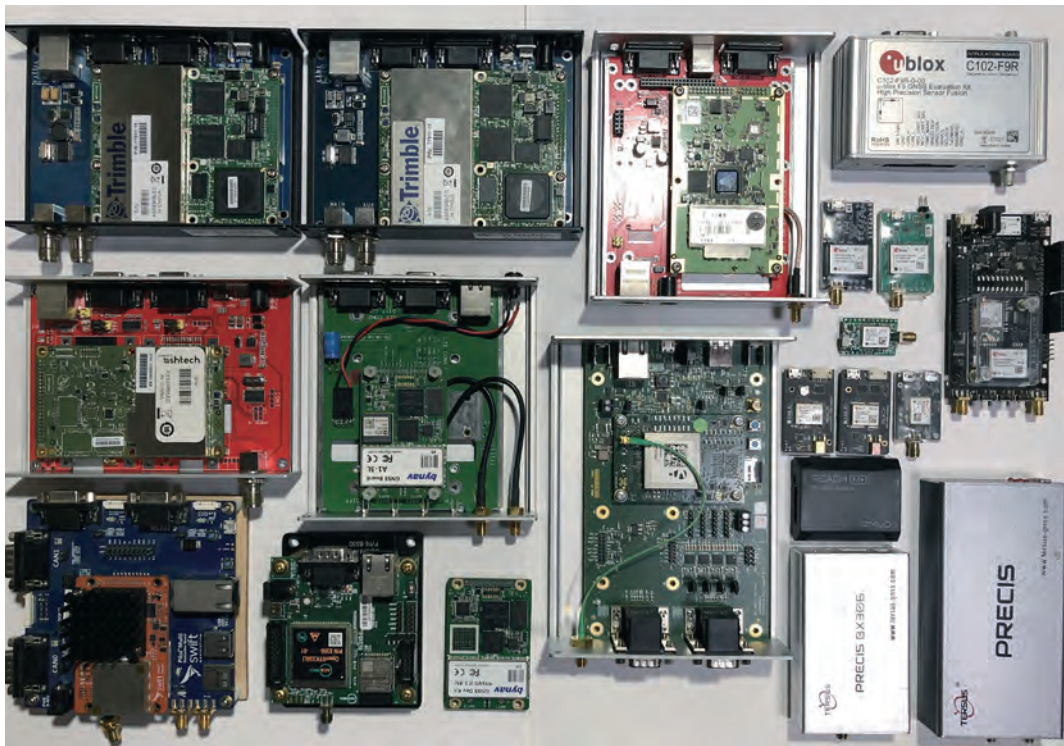
ここまで高精度GNSS測位についてその特徴を解説してきました。次に、今後の高精度GNSS測位について、現時点での展望を述べていきたいと思います。低価格な高精度GNSS測位モジュールを写真1に示します。

高精度GNSS受信機に低価格化の波

- 2016年ごろから低価格なモジュールが出てきた早くに製品化された低価格RTK用受信機の1つは、

2016年発売のNEO-M8P(ユーブロックス)です。当時100万円以上した一般のRTK用受信機に比べ、2桁安い価格でcm級測位が可能ということで、関係者に衝撃を与えました。ただし、L1帯のみの1周波受信機であったこと、GLONASSとBeiDouを同時利用できなかったこと、準天頂衛星に対応していなかったことなどにより、測位性能は必ずしも満足いくものではありませんでした。NEO-M8Pについては本誌の記事⁽¹⁾に紹介があります。

ユーブロックス社は、NEO-M8Pの次世代高精度



(上段)Trimble BD982 × 2, NovAtel OEM729, u-blox ZED-F9R, u-blox ZED-F9P × 3, u-blox NEO-M8P
(中段)Trimble BD990, Bynav A1-3L, Septentrio mosaic-X5, Emild Reach × 2, u-blox NEO-M8P, Emild Reach M+
(下段)SwiftNav Piksi Multi, Acecina OpenRTK330LI, Bynav C1-8S, Tersus Presis-BX306, Tersus Precis-L1L2

写真1 低価格な高精度GNSS測位モジュールが増えてきている

筆者のRTK用受信機のコレクション。このうち8種類を同じアンテナから分配した信号で同時に動かして測位性能を比較した